

## 要 約

試 験 委 託 者 : 環境省

表 題 : デカブロモジフェニルエーテルのヒメダカ (*Oryzias latipes*)  
に対する急性毒性試験

試 験 番 号 : A030429-4

試 験 方 法 :

- 1) 適用ガイドライン: OECD 化学品テストガイドライン No. 203 「魚類急性毒性試験」  
(1992年)
- 2) 暴 露 方 式 : 半止水式 (24時間毎に試験液の全量を交換)  
水面をテフロンシートで被覆
- 3) 供 試 生 物 : ヒメダカ (*Oryzias latipes*)
- 4) 暴 露 期 間 : 96時間
- 5) 試 験 濃 度 : 対照区, 助剤対照区, 0.00520 mg/L  
(設定値) (試験液調製可能最高濃度の限度試験)  
助剤濃度一定: 100  $\mu$ L/L (ジメチルホルムアミド使用)
- 6) 試 験 液 量 : 5.0 L/容器
- 7) 連 数 : 1 容器/試験区
- 8) 供 試 生 物 数 : 10尾/試験区
- 9) 試 験 温 度 : 24 $\pm$ 1  $^{\circ}$ C
- 10) 照 明 : 室内光, 16時間明 (1000 lux以下) / 8時間暗
- 11) 分 析 法 : 高速液体クロマトグラフィー (HPLC)

試 験 結 果 :

1) 試験液中の被験物質濃度

試験液の分析の結果, 測定値の設定値に対する割合は, 暴露開始48時間後 (換水後) において88%, 72時間後 (換水前) において87%であった。

2) 96時間暴露後の半数致死濃度 (LC50) : >0.00455 mg/L (95%信頼区間: 算出不可)